卒業論文 2015 年度 (平成 27 年)

Meetup におけるプレゼンテーション記録形式の設計と その記録・再生システムの実装

慶應義塾大学 環境情報学部

氏名: 髙橋 俊成

Meetup におけるプレゼンテーション記録形式の設計と その記録・再生システムの実装

本研究では、Meetup におけるプレゼンテーションのアーカイブデータを生成・再生できるようにするために、プレゼンテーションアーカイブフォーマットを設計し、それを実際に生成・解釈するプレゼンテーションシステムを構築した。

Meetup とは、共通の趣味やテーマで緩やかに繋がる WEB コミュニティーのメンバーが、知見共有や人間交流を目的として行うカジュアルな勉強会・交流会である。 Meetup ではプレゼンテーションによってコミュニティーにとって有意義な情報交換が行われている一方で、その記録作業は参加者個々人の自発的・自主的な活動に頼りきっており、保存先や形式がバラバラでまとまったアーカイブが行われていない現状がある。

本研究では、Meetup におけるプレゼンテーションの様々な要素をまとめて記録するための要件を整理し、それらを満たすアーカイブフォーマットを設計した。そして、そのフォーマットでプレゼンテーションを記録・再生できるシステムをWEB標準技術を用いて実装し、実証実験を実施した。

本研究により、Meetup におけるプレゼンテーションのアーカイブが実現し、再生が可能であることを確認した。

キーワード:

1. アーカイブ, 2. プレゼンテーション, 3. Meetup, 4. WEB 標準技術

Abstract of Bachelor's Thesis

目次

第1章	はじめに	7
1-1.	背景	
1-2.	課題	
1-3.	本研究の目的	7
1-4.	用語定義	8
1-5.	本論文の構成	8
第2章	MEETUP におけるプレゼンテーションの分析	9
第3章	MEETUP におけるプレゼンテーションアーカイブの現状	9
第4章	MEETUP におけるプレゼンテーションの構成要素	9
第5章	プレゼンテーションアーカイブフォーマットの設計	9
第6章	プレゼンテーション記録・再生システムの設計と実装	9
第7章	実証実験	9
第8章	評価	9
第9章	結論	9
	謝辞	g
	付録	9

図目次

表目次

第1章 はじめに

1-1. 背景

インターネットコミュニティーは情報通信技術の発達とともに登場し、今日まで発展してきた。古くはメーリングリストや IRC で、現在では SNS で、活発な非対面・テキスト主体のコミュニケーションが行われてきた。これは同じ趣味やテーマによって緩やかに繋がる同質性の高いコミュニティーである。

WEB コミュニティーのメンバーは時々、密なコミュニケーションを求めて Meetup と呼ばれるオフラインイベントを開催することがある。Meetup は、知見共有・人間交流を目的とした対面・リアルタイムのカジュアルな勉強会・交流会で、参加者のうち数人が発表者としてプレゼンテーションを行うスタイルが一般的である。聴衆側の参加者は、発表後の質疑応答のほか、発表中に同時進行的にマイクロブログサービスへ感想や意見を投稿するなどして発表者および他の聴衆とコミュニケーションをとる。

1-2. 課題

現在、Meetup におけるプレゼンテーションは、発表者が使用スライドをスライド共有サービスに投稿したり、参加者が発言記録や当日の感想をウェブログ等に掲載したりすることでアーカイブされる。しかし、それらはすべて参加者の自発的・自主的な取り組みであり、保存場所や保存形式は人それぞれで、そもそも記録が行われないことも少なくない。Meetup の告知・参加調整を手助けする WEB サービスは古今東西にあるが、そこで行われた有意義なプレゼンテーションやディスカッションを記録する環境が整備されているとは言い難い。

無数の Meetup が日々世界中で開催され有意義な情報交換が行われていながら、それらが記録され共有されないのは WEB コミュニティーのみならず社会全体にとって大きな損失である。

1-3. 本研究の目的

1-4. 用語定義

[ToDo]

1-5. 本論文の構成

第2章 Meetup におけるプレゼンテーションの分析

第3章 Meetup におけるプレゼンテーションアーカイブの現状

第4章 Meetup におけるプレゼンテーションの構成要素

第5章 プレゼンテーションアーカイブフォーマットの設計

第6章 プレゼンテーション記録・再生システムの設計と実装

第7章 実証実験

第8章 評価

第9章 結論

謝辞

付録